

授業科目名 <英訳>	日本史学(特殊講義) Japanese History (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 高木 博志				
配当学年	全回生	単位数	4	開講期	通年	曜時限	水2	授業形態	特殊講義
題目	近代の帝都と古都の「伝統文化」								
[授業の概要・目的]									
<p>帝都東京とともに、古都として「歴史」「伝統」を体現する奈良・京都の歩みを、近代天皇制との関わりにおいて考察する。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>奈良・京都といった古都の近代と、東京遷都後の帝都東京における新たな皇室をめぐる文化についてを考えたい。皇室の宗教や文化における近世との連続性や断絶性、皇室をめぐる「文明開化」のあらわれ方、古都と帝都の祭礼や皇室儀礼・年中行事の変容、帝室博物館や文化財が持つ政治性、陵墓や正倉院御物のもつ天皇家の「財」としての機能、修学旅行や観光における古都や帝都が果たす役割、古都と帝都の皇居・御所・御用邸や名所・史蹟の意味、といった問題群を考察したい。近代天皇制をたんなる政治過程ではなく文化や社会から考察し、日本近代の普遍性や固有性を考えたい。前期と後期に、公家社会の痕跡を見る京都御苑、京都の周縁（六波羅・豊臣史跡・花街など）としての東山、古典文学と史跡復興の場としての嵯峨野、黒谷掃苔などの巡見も行いたい。</p>									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・基準]									
講義にかかわる自由研究のレポートによる。注のある形式。授業で指示。平常点も加味する。									
[教科書]									
使用しない プリント等を配布する。									
[参考書等]									
<p>(参考書)</p> <p>高木博志 『近代天皇制と古都』(岩波書店、2006年)</p> <p>高木博志 『陵墓と文化財の近代』(山川出版社、2010年)</p>									
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))									
レポートの内容について個別相談に応じる。									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									